

塩尻市に合併して7年。私は鹽川地区にある塩川地域おこし農家組合の加工部で漬物や菓子作りを行い、市内のイベント等に参加させていただいております。また塩尻農村生活マイスターの一員として、マイスターの皆さんから刺激を受けて楽しく交流しています。今年は塩尻唯一の伝統野菜「羽淵キウリ」に、県より元気づくり支援金をいただき、地元の方にキウリを作ってもらいマイスターと連携してレシピ作りをしています。「羽淵キウリ」の特徴を生かした料理が30種類ほど



橋川京子さん  
橋戸

できました。家庭で簡単にできる料理、お店で使ってもらえる料理、加工して販売できる料理など、アイデアに驚いております。この経験を生かし、地域の元気の源にして知名度を上げ、市の財産になるよう皆さんで励みたいと思っています。

### 市民の声

先般発表された総務省の推計によると、65歳以上の人口が初めて3千万人を突破し、日本人の約4人に1人は、65歳以上だという発表があった。



野村功さん  
千村

高齢化社会が進むと、当然医療や介護等の社会保障費の増加が必要になってきます。それに対する対策を十年・二十年先を見越して、早急に考えてほしいと思います。

働き盛りの頃は、それぞれの立場で社会に貢献してきた高齢者が、余生を安心して生きられる社会にしたいものです。しかし、65歳以上でも、まだまだ意欲や能力のある人は、それまで蓄えてきた知識や経験をぜひ地域社会で発揮してほしい。自分も高齢者の一人として、なるべく人に頼らず、迷惑をかけず、自分の趣味を持って、やりがいや、生きがいを見い出して、自分の足で生きられるようにしたいと、常に思っています。

## 市議会レポート

### 注目される 塩尻市議会の議会改革

塩尻市議会では平成23年1月に議会基本条例を施行しました。施行から1年10カ月が経過し、条例に基づいて、年1回以上議会報告会を開催するほか、市民をはじめ、請願陳情提出者が委員会で趣旨説明をするケースも増えてきているなど、より開かれた議会に向けた活動が活発になっていきます。

全国の地方議会の議会改革度ランキング(※)でも、塩尻市議会は平成22年度は14位であったのに対し、23年度では25位へと大きく順位が上昇しています。また、塩尻市への議会改革に関する行政視察



9月6日 早稲田大学マニフェスト研究所視察来塩

の件数も、平成22年度は0件だったのに対し、23年度は13件と大きく増えました。さらに平成24年度は9月末現在7件で、9月6日には早稲田大学マニフェスト研究所が視察に訪れ、その模様が新聞等に掲載されました。多くの方から注目され始めた塩尻市議会。今後もより開かれた議会を目指し、議会改革を推進していきます。

### 12月定例会の予定

11月30日	開会日
12月10日	代表・ 一般質問
11日	
12日	
13日	委員会審査
14日	
17日	
18日	
20日	閉会日

会議の日程は変更になる場合があります。

#### 本会議を生中継しています!

テレビ松本ケーブルテレビの「塩尻市行政チャンネル(J706)」で市議会本会議の生中継を行っています。本会議開催の一週間後に録画放送も行っています。また、市議会ホームページでもインターネットによる生中継・録画放映を行っています。ぜひご覧ください。

### 議会あれこれ

- ◆委員会室の各議員席に、マイクが設置された。これは常任委員会等で、質問や説明が聞き取りにくいことの解消や、委員会等のテレビ中継に対応しようとするもの。まだ慣れないため、操作を行わないで一生懸命質問し失笑されているが、概ね好評だ。
- ◆3月定例会に提出された条例議案1件と請願1件が継続審査となり、各議員・会派が視察、調査研究をしたが、6月定例会でも継続審査となった。9月定例会の結果について、各議員が自身の賛否の意思表示について市民に説明責任を果たすことが大切である。
- ◆2度継続審査になっていた常勤監査委員を設置できる条例の改正案が、賛成少数で否決となった。常勤の必要性よりも、人事の噂が先行し、焦点のずれも感じられたが、秋の議会報告会で市民の皆様のご意見も聞いてみたい。

#### 議会基本条例推進委員会 広報部会

- ◎古畑 秀夫 ○宮田 伸子
- 横沢 英一 中原巳年男
- 五味 東條 中村 努
- 柴田 博

◎部会長 ○副部会長